



## 第2回・第3回授業力アップ研修

7月から10月までの期間、国語、算数・数学、外国語・英語の3教科で、5月の第1回に引き続いて、第2回・第3回の授業力アップ研修を行いました。小学校・中学校における公開授業・協議会や、授業づくりに関する情報交換など、各教科で「読解力」を1つの視点としながら、授業力を高める充実した研修を行うことができました。以下、各教科における第2回・第3回の研修の様子と、参加者の感想をご紹介します。

### 国語 指導者：新潟大学教育学部 教授 足立 幸子 様

第2回は燕西小学校で3年生の説明的文章「こまを楽しむ」、第3回は燕中学校で3年生の古典「おくのほそ道」の授業をそれぞれ公開し、その後協議会を行いました。授業者が授業で講じた手立てが本時のねらいに迫るものになっていたか、子どもの姿を根拠にしながら協議しました。足立様から、教科書の説明的文章を基に作文を書く活動を行う際に大切にしたいこと、古典を分析的に読むための視点などについて、ご指導をいただきました。

#### (参加者の感想)

- ・作文指導の方法について深く考えることができました。子どもが書きたいと思うテーマ設定や、不十分な作文の例の提示方法などやり方を真似したいと思いました。
- ・古文の注釈をそのまま学ぶのではなく、地の文と俳句を結び付けて考えてから、注釈を学ぶという指導計画が素晴らしいと思いました。素晴らしい授業を見せていただき、ありがとうございました。



### 算数・数学 指導者：新潟大学教職大学院 准教授 阿部 好貴 様

第2回は燕東小学校で4年生の「資料の整理」、第3回は燕北中学校で「一次関数」の授業をそれぞれ公開し、その後協議会を行いました。協議会では、子どもの姿をもとに、リーディングスキルを意識した手立てについて、グループごとに協議しました。阿部様からは、公開授業をもとに授業づくりのポイントについてお話いただきました。

#### (参加者の感想)

- ・小学生は現実が先、中学生は数値が先になってしまうと分かりました。話し合い活動をするためには、1つの資料だけでは弱いと感じました。複数を比較することで、価値づけができるのだと思いました。
- ・グループワークを通して、自分ならこうするなど、様々な先生方から考え方を聞き取ることができて、勉強になりました。阿部先生のご指導にあったように、教師があれこれ準備しすぎるのではなく、生徒をうまく困らせる、そんな工夫が必要だと感じました。



### 外国語・英語 指導者：新潟大学教育学部 名誉教授 松沢 伸二 様

第2回は「英語力を高める生徒による英語の言語活動」をテーマに、松沢様より「ジャンル準拠教育の教授学習サイクル」についてご講義いただきました。その後、参加者が2学期に行う言語活動を協議しました。第3回は学校種別で言語活動の実践紹介、中学校区別で小中連携の取組を確認しました。その後、松沢様より「学習者用デジタル教科書の効果的な活用とリーディングスキル」についてご講義をいただきました。

#### (参加者の感想)

- ・言語活動についての大切な話を聞き、ただやらせるのではなく、子どもたちがしっかり相手や目的意識を持って活動に取り組めるようにしていきたいと思いました。
- ・松沢教授よりご指導いただいた音読テスト・練習は、クロームブックを活用することで、小学校現場でも子どもの負担なく進められそうであり、さっそく取り組んでみたいと思いました。

